

大阪公立大学イノベーションアカデミー共創研究拠点（スマートエネルギー棟）
 整備事業に係る什器等調達業務公募型プロポーザル審査基準兼配点表
 【書類審査基準】

No.	評価項目・配点					
1	業務実績：オープンスペースへ納入した同種案件数					10点
	9～10件	7～8件	5～6件	4件以下	200人以上が使用するスペースへ納入した案件がある場合、2点追加	
	8点	6点	4点	2点	+2点	
2	過去の実績から、本件の仕様書等の趣旨に沿った提案を期待できるか。					20点
	極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分	
	20点	15点	10点	7点	3点	
合計						30点

選定方法

- 書類審査は、資格審査通過者が6者を超えた（7者以上）場合に実施する。
- 合計得点が高い上位6者のみが、プレゼンテーションへの参加要件を満たす。
- 上記2において合計得点と同じ場合は、評価項目「過去の実績から、本件の仕様書等の趣旨に沿った提案を期待できるか。」の得点が高い者を選定する。
- 上記3において得点と同じ場合は、くじにて決定する。

大阪公立大学イノベーションアカデミー共創研究拠点（スマートエネルギー棟）

整備事業に係る什器等調達業務公募型プロポーザル審査基準兼配点表

【プレゼンテーション審査基準】

No.	評価項目	細目	配点 (満点)
1	業務実績	(1) 同種又は類似業務の十分な実績があるか。	5点
2	体制・工程管理等	(1) 本業務を確実に実施できる体制、工程、全体スケジュールとなっているか。	5点
3	企画力、実現性に関すること	(1) 地域中核拠点として産学官民共創を推進する本施設の事業内容及び期待することを理解し、設計、整備コンセプトに沿った企画提案となっているか。 (2) 企画提案のコンセプト、企画提案でアピールしたいことが効果的な内容の提案となっているか。 (3) 企画の実現性が明確となっているか。	20点
4	什器に関すること	(1) 堅牢性、耐久性、メンテナンス性に優れ、用途に相応しい機能性を有しているか。	5点
5	レイアウトやデザインに関すること	事務室 (1) コミュニケーションの活性化のための工夫がなされているか。 (2) 集中しやすい環境づくりがなされているか。 (3) スペースの効率化のための提案がなされているか。	5点

		1階 ワーク ショッ プエリ ア	<ul style="list-style-type: none"> (1) 個人・グループを問わず、滞在しやすい空間となっているか。 (2) 訪れた人がリラックスし、創造性を高めるとともに、自然な交流を通じ、共創が生まれるような工夫がなされているか。 (3) 多様な活動にフレキシブルに対応できる空間となっているか。 (4) 床の高低差を利用した空間デザインとなっているか。 (5) イベントやワークショップ等を行うため、集客効果の高い空間となるべく工夫がなされているか【ステージのあるエリア】 (6) 収容人数と快適性、効率性、コストなどのバランスが取れた提案となっているか。 	20点
		2、3階 オープ ンラボ	<ul style="list-style-type: none"> (1) 人数、目的及び用途に合わせた多様な形態の打合せが可能な什器類及び配置が提案されているか。 (2) 学内関係者、ラボ利用者、来客者など多様な人々が交流し、共創が生まれる空間となっているか。 (3) リフレッシュや作業のできる空間となっているか。 	10点
		その他	<ul style="list-style-type: none"> (1) 仕様書にない項目で、特に評価すべき創意、工夫が見られるか。 	10点
6	参考見積額に関すること	<ul style="list-style-type: none"> (1) 予算範囲内で最大の効果が得られる提案であるか。 (2) 提案内容と費用のバランスが取れているか。 	10点	
7	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> (1) 本業務に対する強い意欲が見られるか。 (2) 提案内容を分かりやすく説明しているか。 (3) 知識・経験に裏付けられた説得力があるか。 (4) 今後の調整において必要な対話力を有しているか。 	10点	
合計				100点

※本学が定める一定基準（配点合計点の6割）を満たさないと委員会（受託者選定委員会）で判断した企画提案参加者は失格とする。いずれの提案も一定基準（配点合計点の6割）を満たさない場合、再度募集を行うものとする。